

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団

微生物機能探究コンソーシアム

2024 年度 活動報告書

(2024/11)

はじめに

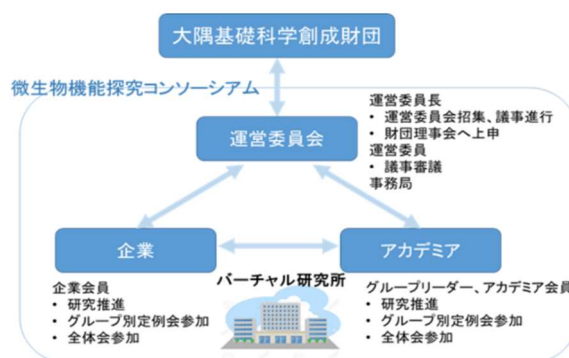
1. 目的

地球環境や生態系における微生物の役割やその及ぼす影響は極めて大きく、それを対象とする研究にもまだまだ未知の領域が多く残されている。本コンソーシアムは、アカデミアと企業が協力して微生物学の発展を図ることを目的として、2020年12月に設立された。

2. 体制

当コンソーシアム会員は、右記のような構成で運営されている。活動開始当初、アカデミアグループは3グループだったが、現在は4グループで活動している。

運営委員会は企業経営者、アカデミアグループリーダーの12名で構成され、コンソーシアムの運営に関する事項を審議し、審議結果は財団の理事会に上申する。



企業会員(14社)

アサヒクオリティーアンドイノベーションズ株式会社、味の素株式会社、花王株式会社、キッコーマン株式会社、キリンホールディングス株式会社、三機工業株式会社、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社、住友ファーマ株式会社、テルモ株式会社、株式会社堀場製作所、三井化学株式会社、三菱電機株式会社、株式会社 明治、横河電機株式会社

アカデミア会員

グループ1：東京工業大学、立教大学、信州大学、千葉大学、広島大学、

城西大学、都立大学、慶応大学、九州大学

グループ2：東京大学、京都大学、大阪大学

グループ3：東京大学、広島大学、慶應大学、静岡大学、群馬大学、名古屋大学、

国立感染研究所、京都大学

グループ4：東京都立大学、東京理科大学、海洋研究開発機構、東京大学

運営委員

財団理事、グループリーダー、企業側委員 計12名により構成。

活動報告

1. 活動概要

	2024 年					2025 年						
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
全体会				✓								
グループ毎の定例会		✓	✓									

全体会 : 全グループ合同で4か月に1度開催(年3回)。

定例会 : 全体会のない月に4グループそれぞれ年6回ほど開催。

2. 活動一覧

2024 年 9 月定例会	
G1 8/27	講演演者：慶應義塾大学 増田 豪氏 タイトル「1 細胞プロテオミクス技術の開発と展開」
G2 9/6	(はじめに参加者全員からの挨拶) 講演演者：静岡大学工学部 吉田 信行 氏 タイトル「超低栄養性細菌とはどのような微生物か？」
G3 9/20	講演演者 1：国立感染症研究所 矢原 耕史氏 タイトル「薬剤耐性菌の全国サーベイランスの発展とその関連研究」 講演演者 2：国立国際医療研究センター 竹本 訓彦氏 タイトル「侵襲性細菌感染症の背景にある環境適応進化」
G4 9/24	講演演者：基礎生物学研究所 小杉 真貴子氏 タイトル「南極藻類に見つかった遠赤色光利用型の光合成システム」
2024 年 10 月定例会	
G1 10/4	講演演者 1：東京大学 井手口 拓郎氏 タイトル「微生物のラベルフリー分子振動イメージングを実現する超解像赤外顕微鏡」 講演演者 2：大阪大学 西口 茂考氏 タイトル「マルチモーダル高速 AFM を用いた細胞分裂時における大腸菌表層の構造・力学特性・蛍光分子の同時計測」
G2 10/7	(株式会社堀場製作所様の会場にて) 講演演者：立命館大学 三原 久明 氏 タイトル「セレンが拓く微生物の新たな世界：多様性と分子機能の発見概要」 株式会社堀場製作所様の技術紹介
G3 10/16	講演演者：静岡大学 新谷 政己氏 タイトル「プラスミドデータベースの構築について (進捗報告⑤)」
G4 10/24	(海洋研究開発機構の会場にて) 海洋研究開発機構見学 講演演者：海洋研究開発機構 延 優 氏 タイトル「約 35 億年の歴史から解明する光合成生物とシステムの本質」

2024年11月 第12回 全体会	
G3 担当	(東京大学弥生キャンパスにてハイブリッド開催) オープニング： 司会挨拶 G3 野尻秀昭 / 運営委員長挨拶 池内昌彦 講演演者： 東京大学 工学部 西増 弘志 氏 タイトル「微生物のもつ驚きの酵素」 企業からの感想と要望など
2024年12月定例会～2025年1月定例会 計画中	
G1 12/11	
G2 12/18	
G3	
G4	